

介護ロボット導入報告書

施設名	地域密着型特別養護老人ホームほしの家
施設の種別	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
住所地	土岐市泉町久尻 2431-150

1 導入したロボットについて

ロボット名称	超音波・赤外線コール
介護の種類	移乗介護 移動支援 排せつ支援 見守り 入浴支援
ロボットの写真	 <p>*ロボットの形状が分かる写真をお願いします。</p>

2 使用状況

使用状況	
介護ロボットが使用された場面	認知症の方の居室で使用。ナースコールの押し釦を押せないためセンサーマットを設置すると、マットをよけてベッドから降りようとし、危険なためマットのように目に見えるものがない超音波・赤外線タイプのセンサーを設置した。

3 導入によって得られた効果

得られた効果	当該利用者が安全にベッドから降りることができ、かつ職員も素早く居室を訪問することができるため転倒などのリスクを軽減できた。また、万が一転倒した場合でも早く発見することができ、長時間同じ姿勢のまま利用者を待たせることがなかった。
--------	---

	<p>また、以前の赤外線センサーと比べセンサーの照射位置や範囲を設定できることや、職員が介助中の一定時間のみセンサーを解除する（一定時間後自動で再設定される）ことで誤反応を減らすことができた。</p> <p>センサー本体に動作を確認するためのランプが点いているが、当該センサーを使用後しばらくしたころ、動作時に点くそのランプを利用者が気にし、ランプが点かないようにベッドから降りようとするところがあったため、ランプ部を隠して使用するよう変更した。</p>
介護ロボット導入について介護士等の意見	<p>センサーマットの存在を嫌う利用者に対して有効なセンサーであった。</p> <p>センサーそのものの設置方法も簡単で、居室の環境等による微調整も苦なくできた。</p> <p>使用していた利用者が居室入り口を常にある程度開けておくことを好んでいたため、廊下を歩く職員等にセンサーが反応しないよう設置するのに苦慮した。</p>

4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	地域密着型特別養護老人ホームほしの家
電話	0572-56-5882
Email	star-house@wing.ocn.ne.jp
担当者氏名	岡田和憲